

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2001/04/22 Vol. 66 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 13 年第 1 回定例会報告 (5)

いつもお世話になっております。印西市議会(3月定例会)は、3月23日(金曜日)で閉会しました。今回は、3月定例会での議案審議についてご報告をさせていただきます。

「学校給食食器変更についての請願」について

(請願概要)*多くの皆様は既にご存知とは思いますが、簡単に再掲させていただきます。「印西市では、学校の食器変更にあたり、当面の対策として『プラスチック製の食器』による更新を行うものとしていますが、現時点ではプラスチック製食器の安全性を確認するのは、極めて難しいものと考えられます。現在、使用中のポリカーボネード食器は耐用年数が切れる平成14年度までに『プラスチック以外』のもっとも安全な食器に全面取替えを実施するとともに、取替えに際しては、原材料や材質、工程などの安全性の調査を充分に行い、市民に情報を公開してください。」

(結果/趣旨採決にて採択 - 私は反対しました。)
「印西新報」にて既報の通り、「印西市民有志の会」より、請願が出されていた、この件は残念ながら、「趣旨採決」という結果に終わりました。私は、「印西市民有志の会」より、求められていた「原案通り」の採決を求めて、趣旨採決に「反対」の立場で以下の通り、討論しました。(趣旨採決に賛成した議員は請願者の思いをどのように受けとっているのでしょうか?)

(反対討論/概要) 趣旨採決では、請願者が求めている内容に全く沿っていないと思います。請願者が求めているものは、全文そのままの採択であり、「趣旨採決」というその内容は非常にあいまいで、人により解釈は変わり、運用が異なることも充分に考えられますので、原案通りの採択を求めます。(実際、プラスチック容器の安全性をかざして趣旨採決に賛成する議員もありました。)~プラスチックは確かに便利で、自分が選択したものを自分が、または家族で使うのは自由だと思います。しかし、この食器採用の件は「人口61000人の印西市の給食事業をどうするか?」という問題であり、市が目指している「安全で安心して暮らせる街」という目標とは異なるものだと思います。

「印旛沼浄化・治水事業推進を求める意見書」提出についての陳情書

(全会一致で採択しました。)

(陳情趣旨)*環境対策として、印旛沼の水質浄化と治水事業の積極的な推進を求める意見書を国に提出してください。 ~ 1989年以來調査が続けられていた「印旛沼総合開発事業」が、公共事業の見なおしにより、打ちきりとなりました。同事業は、印旛沼の水質改善、流域の水害防止、水利用の拡大を目的としたものですが、印旛沼流域15市町村においても、これまで、事業実現にむけて協力してきました。しかし、現状は、この10数年間、水質は悪化の一途をたどってきています。このため、流域住民にとって、一番必要な、豊かな自然の水辺、かつ貴重な環境資源であり、住民の憩いの場としての沼の価値が失われつつあります。一方、治水面でも広範な宅地造成によって、雨水の流失率が増加し、大きな台風の直撃を受けると、印旛沼は再びかつての暴れ沼と化す恐れが充分予想されます。こうした状況下で、「印旛沼総合開発事業」が打ちきられたことは、痛手であり、しかし、今後の重点的な予算配分項目として、「環境対策」が含まれています。ということは印旛沼環境対策として、水質浄化と治水に関する事業は、公共事業打ちきりの対象外であり、逆に積極的に推進すべき事業であると考えます。

本年、4月1日より、白井町が白井市となり、市制が施行されたことにより、条例上の「白井町を白井市に変更する」との、文言訂正のための議案が審議され、可決されました。

- * 「印旛郡市広域市町村圏事務組合同規約の変更に関する協議について」
- * 「印西地区環境整備事業組合同規約の変更に関する協議について」
- * 「印西市地区消防組合同規約の変更に関する協議について」
- * 「印旛利根川水防事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について」他

市町村合併に関しての市の考え方

3月議会の会期中や予算審議中に、「市町村合併」についての市の考えを聞く機会がございましたので、この紙面に、ご紹介したく思います。

(印西市の考え方)

県が昨年11月15日付けで発表しました、千葉県市町村合併推進要綱素案についてですが、この素案は、県において12月15日に正式に「千葉県市町村合併推進要綱」として、策定されて、12月18日に公表されました。この要綱は、千葉県における合併機運の醸成と新しい地域づくりにむけ、市町村合併に対する基本的考え方や取り組み方策等を明らかにすることに加え、市町村の関係者や地域住民が、市町村合併を検討や議論する上での参考や目安として県がまとめたものです。市町村合併は、市町村の規模を拡大することで、公共施設の共同管理等により経費削減が可能となり、行政サービスを効率化していくことができ、これによって現在の国・地方を通じた深刻な財政危機を打開する事ができることから、現在、国においては、推進を強く進めている時代の要請と認識しております。印西市では合併については、議会をはじめ、自治体及び住民の創意と近隣市町村の合意が為されてはじめて実現できるものと考えます。今後、その必要性が生じた場合は、迅速に対応して参りたいと考えております。

印西市国際交流協会 設立総会に出席してきました。

4月14日(土曜日)に市役所で開かれた設立総会に出席して参りました。当日は、100人を大きく超える参加者があり、規約や事業計画が議事として審議されました。

今年度の事業計画は以下のようなものです。(抜粋させていただきます。)

1. やさしい異文化講座(毎月1回第二土曜日 木下の「中央公民館」で開催予定。)
2. 日本語教室(在日外国人を対象/市内600人程度いるそうです。)
3. 外国語教室(韓国語、中国語、実用英語など)
4. 生活相談(在日外国人を対象に)
5. 外国との交流(小中学校生徒達への啓蒙教育等)
6. 交流イベント(お祭り、料理講習会、食べる、遊ぶなど)
7. 通訳ボランティア登録 などです。

** どうなっているの ? 牧の原駅 南口

多くの皆様から、お問い合わせいただいております。しかし、4月16日(月曜日)現在、正確な情報は市や公団から、発表されておりません。私自身も、市に問い合わせしておりますが、「公団からの連絡を待っている」との状況は変わりません。3月末には、発表されることでしたが、いまだに発表がないのは非常に不可解です。今の状況は「私自身もわかりません。」皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、正確な情報がわかりたい、ご報告させていただきます。宜しくお願い致します。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き、定例会の報告を行って参りたいと思います。この紙面へのご批判、ご意見、また市政へのご提言をお待ちしております。重ねてよろしくお願い申し上げます。 ぐんじとしのり